

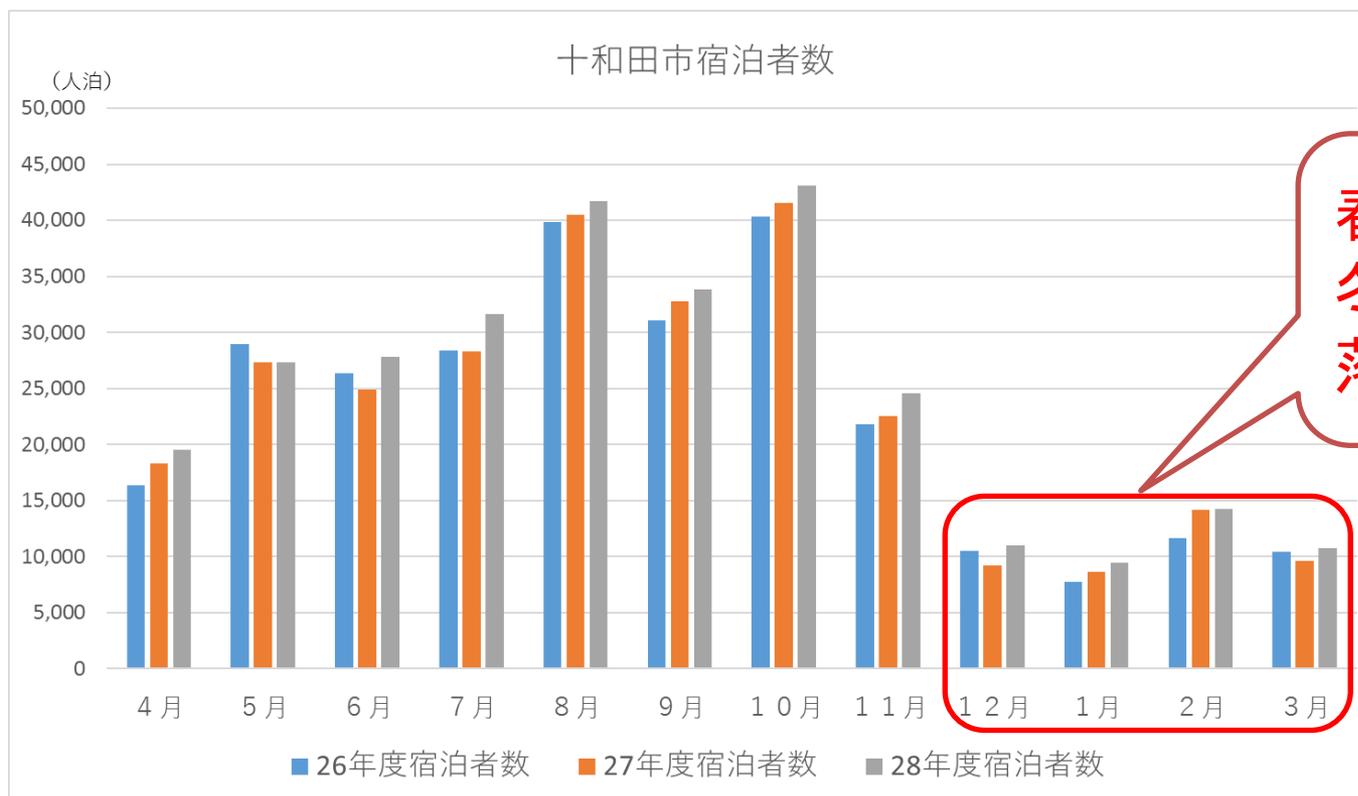
**事務事業評価 事業説明資料**  
**【冬季観光の充実・強化】**

**観光商工部 観光推進課**

# 事業実施の背景

## ■ 十和田市の観光の課題

- ・冬季（12月～3月）の観光客が少ない。



春夏秋に比べ  
冬は観光客が  
落ち込む

# 事業実施の背景

## ■ 十和田市の観光の課題（つづき）

- ・冬季休業する宿泊施設が多い。

焼山・八甲田・十和田湖地区(H28)

宿泊施設数 22施設 → 冬季営業施設数 14施設

総客室数 774室 → 冬季総客室数 464室

8施設が冬季休業

- ・冬季休業によるデメリット

冬に雇用が途切れるため、人材確保（若者雇用）、育成が困難。

価格の安い時期に来訪しようとするインバウンド受入機会の喪失。

冬季閉鎖による施設の老朽化。

- ・冬季運休しているJRバス東北や遊覧船の再開を促すため、強力な冬季のコンテンツが必要。

# 冬季観光充実・強化事業

## ■ 目的

- ・本市の課題である冬季観光の充実・強化を図る。
- ・冬季観光客数及び宿泊客数を増加させる。
- ・年間を通じた安定した雇用の創出を図り、人口の維持、減少の緩和に資する。

## ■ 手段

- ・本市が有する大自然の特徴を活かし、
- ・奥入瀬溪流において冬にしか見ることができない氷瀑などの自然景観を鑑賞できる仕組みを作る。
- ・十和田湖温泉スキー場を活用し、外国人観光客も気軽に体験できる、雪を楽しむ新たなコンテンツを創出する。
- ・地域再生計画（企業版ふるさと納税）制度の活用。（3年計画）



# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 事業内容

奥入瀬溪流において、氷瀑・氷柱を始めとした冬にしか見ることのできない自然景観を、「奥入瀬溪流氷瀑ツアー」として観光客がバスに乗り気軽に楽しめるよう提供した。

### ① 奥入瀬ネイチャーガイドツアー

冬の奥入瀬溪流の氷瀑や氷柱など、見所となる各ポイントや運行中の車内で奥入瀬溪流の**自然等**について**ガイドが解説**を行いながら巡るバスツアーを実施した。



# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

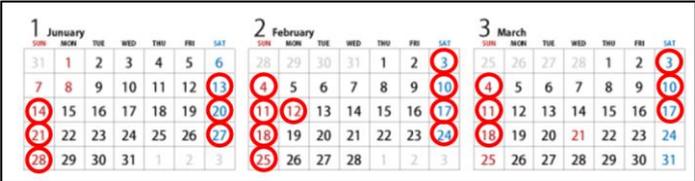
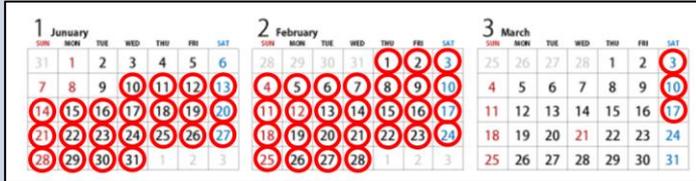
## ■ 事業内容（つづき）

### ② 冬の奥入瀬ナイトツアーバス

夜の奥入瀬溪流をさらに魅力のある景観として演出するため、見所となる箇所をライトアップし、ガイドによる自然の解説を聞きながら、冬季の夜にしか見ることができないプレミアムな冬景色を見ることができるバスを運行した。



# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

	①奥入瀬ネイチャーガイドツアー (日中のガイドツアー)	②冬の奥入瀬ナイトツアーバス (夜のライトアップツアー)
<b>催行期間</b>	2018年1月13日(土)～3月18日(日) の土・日・祝日 	30年1月10日(水)～2月28日(水) 毎日 30年3月3日(土)、10日(土)、17日(土) 
<b>ツアーのポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中にバス運行、ガイド同乗</li> <li>・冬の奥入瀬溪流の氷瀑や氷柱など、見所となる各ポイントや運行中の車内で奥入瀬溪流の自然等についてガイドが解説を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間にバス運行、ガイド同乗</li> <li>・照明車両1台とバス1台が一体となって移動、見所となるポイントで一時停車のうえ照明器具により照射。各ポイントや運行中の車内で奥入瀬溪流の自然等について解説を行う。</li> </ul>
<b>料金</b>	大人 1,000円～2,000円 子ども 500円～1,000円 ※事前支払い	大人 1,000円～2,000円 子ども 500円～1,000円 ※大人1名に対し未就学児2名まで無料 ※バス車内で支払い
<b>申込期限</b>	参加日の4日前までに申込 ※運行が決定している場合は当日まで申込み可	参加日の4日前までに申込 ※運行が決定している場合は当日まで申込み可

# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ①奥入瀬ネイチャーガイドツアー（日中のガイドツアー）



### 運行ルートと乗車場所

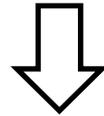




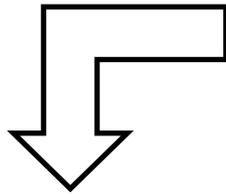
# 夜の自然の営みを観察する手法の確立

## ■ 自然環境への配慮

奥入瀬溪流 = 国立公園の特別保護地区

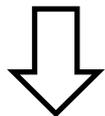


~~ライトアップ機材の設置  
長時間の照明照射  
発電機の排気ガス~~



## 移動式ライトアップ

投光器を搭載した車両が各スポットで短時間(約5分)照射し移動



自然環境へ配慮した  
仕組み



投光器と蓄電池を搭載した照明車



照明車両とバスが一体となって移動しライトアップ・自然の観察

# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 実績（市企画ツアー）

	①奥入瀬ネイチャーガイドツアー	②冬の奥入瀬ナイトツアーバス	
		1回目 16:10発	2回目 18:10発
参加者数 及び 運行回数	1月 42人 6回 2月 79人 9回 3月 27人 6回	1月 404人 21回 2月 190人 19回 3月 57人 3回	1月 171人 20回 2月 96人 17回 3月 48人 3回
合計	148人 21回	966人 83回	

## ■ ホテル連携

焼山エリアの宿泊施設と連携し、ホテルがオプションとして氷瀑ツアーを開催  
1月5日～3月18日の毎日 1日2～3便 参加者数4,033人

**合計5,147人**

# 奥入瀬溪流氷瀑ツアー

## ■ 成果

- ・1年目の主目的である、冬の奥入瀬の昼と夜を見せる**仕組みを確立**した。  
(特にライトアップ手法は多方面から注目されている。)
- ・冬季の誘客の増加に寄与した。
- ・メディアへの露出により**冬季観光のプロモーション**につながった。

<p>●新聞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東奥日報 平成30年1月11日 朝刊</li><li>・デーリー東北 平成30年1月11日 朝刊 平成30年1月18日 朝刊</li></ul>	<p>●テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テレビ東京 番組名：『ガイアの夜明け』 1月23日放送</li><li>・TBS 番組名：王様のブランチ 1月27日放送</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・RAB（青森放送） 番組名：『RABニュースリーダー』 1月11日(木)</li><li>番組名：『ZIP!FRIDAY』 1月19日(金)</li><li>・ATV（青森テレビ） 番組名：『わっち』 1月11日(木)</li></ul> <p>ほか NHK、秋田朝日放送等</p>
--	---	--



雑誌 モノ・マガジンへの掲載

## ■ 今後の方向性

- ・ツアーの内容をブラッシュアップし継続する。
- ・冬季の他の観光コンテンツとの連動を図る。  
(例：十和田湖冬物語、八甲田の樹氷等)
- ・冬季の誘客に向けたプロモーションを実施する。

# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## ■ 事業内容

市が有する資源である十和田湖温泉スキー場を活用して、**スノーチューブ**や**そり遊び**など観光客が**気軽に雪を楽しむ**ことができる各種スノーアクティビティ体験エリア（**スノーパーク**）を整備し、特に台湾などをターゲットとした新たな誘客促進策の一つとして冬季の観光コンテンツを創出する。

**平成29年度**は、次年度以降の本格的な整備開始に向けて、**試験的に**スノーパークを**オープン**した。



# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## 十和田湖温泉スキー場 スノーパーク位置図

- ・スキーコミュニティセンターを拠点に徒歩で利用しやすい位置に3種類のバリエーションのスノーパークを設置

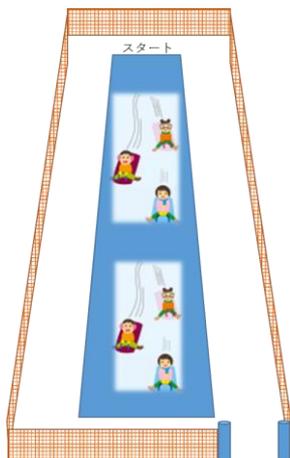


# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## ① 雪山エリア

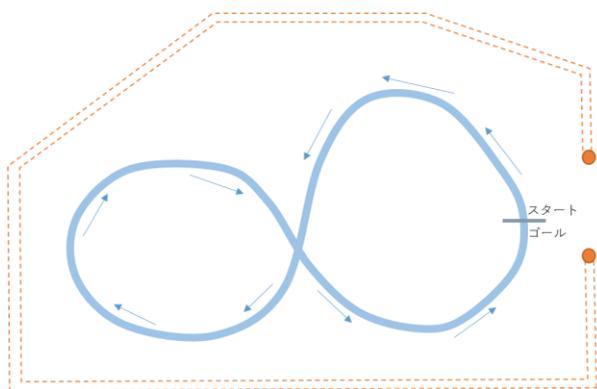


## ② 滑走コース

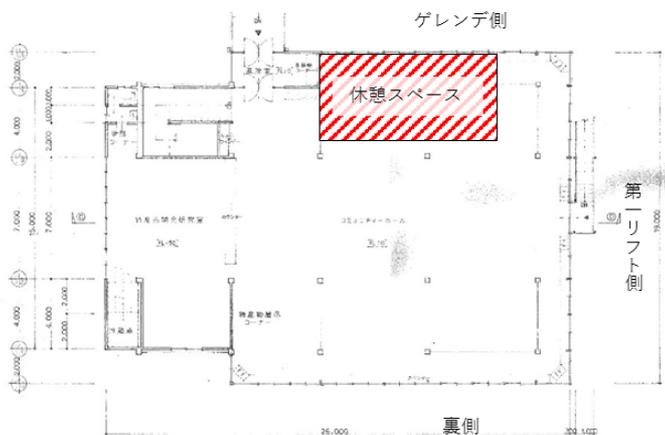


# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## ③ バナナボートエリア



## ④ 専用休憩スペース



# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## ■ 実績

	十和田湖温泉スキー場スノーパーク
開設期間	平成30年2月16日～3月21日
利用料金 (第1リフト往復1回及び スノーパーク遊び放題)	大人 1,000円 子ども 500円 ※子どもは小学生以下
事前予約・申込み	不要 (当日リフト券売り場で利用券購入)
利用者数	193人

※積雪不足により開設が2月にずれ込んだ。

# 十和田湖温泉スキー場スノーパーク整備

## ■ 成果

- ・次年度の本格的な整備開始に向け、実地検証ができた。
- ・冬季の誘客の増加に寄与した。

## ■ 今後の方向性

- ・スノーパークの機能を充実させ、利用客の満足度向上を図る。  
(スノーエスカレーターの整備、遊ぶためのアイテム充実等)
- ・冬季の誘客に向けたプロモーションを実施する。



# 冬季観光充実・強化事業 事業費実績

項目	実績額 (千円)	内容
LED投光器・蓄電池等購入	16,146	LEDカラー投光器 9台 蓄電池 3台 ほか
照明計画・設計・全体監修業務委託料	3,439	ライトアップに関する照明計画等を含む全体監修
照明車両運行業務委託料	4,227	照明車の運行、管理
夜のツアー用バス運行委託料	3,052	ライトアップツアー用のバス運行
日中のツアー用バス運行業務委託料	1,250	日中のツアーの催行（バス運行等）
ツアーガイド業務委託料	1,925	日中及び夜のツアーバスに同乗しての自然の解説業務。ガイドの手配業務 ほか <b>地元ガイド延べ104人が従事</b>
写真・動画素材撮影等その他経費	954	写真・動画撮影、投光器撤去、ポスター・チラシ作成 ほか
合計	30,993	※スノーパーク試験開設経費は別途369千円

# 成果指標及び達成状況

年度	KPI: 十和田市冬季宿泊者数 (12月～3月)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	達成率 (B/A)
平成28年度 (H28.12月～H29.3月)	—	44,529人泊	—
平成29年度 (H29.12月～H30.3月)	50,000人泊	60,733人泊	121.5%
平成30年度 (H30.12月～H31.3月)	55,000人泊	—	—
平成31年度 (H31.12月～H32.3月)	60,000人泊	—	—

※内閣府認定 地域再生計画報告値